

平成26年度「十七字のふれあい事業」表彰の伝達式

- 日時 平成27年1月9日（金） 午後4時15分～
- 場所 県北教育事務所 相談室

福島県教育委員会による「十七字のふれあい事業」表彰で、優秀賞に輝いた本宮市立本宮小学校1年の佐久間優風さんと母親の佐久間恵理子さん、同じく優秀賞の福島市立庭坂小学校6年の菊地卓斗さんと祖母の菊地ヨシイさんの二組へ賞状の伝達式を行いました。

この事業は、子どもと家族、子どもと地域の大人、子どもと子どもなど、家庭や地域の人と人とのかかわりの中で感じた思いや願いなどを十七音で表現し「絆」を深めることを目的として実施しています。



芳賀所長と記念撮影

おばあちゃん 背中はぼくが 洗うから
福島市立庭坂小学校 六年 菊地 卓斗
不自由な 腕に気遣う 孫優し
祖母 菊地ヨシイ

優
秀
賞

ふたあけて ゆげでへんしん わたしシェフ
本宮市立本宮小学校 一年 佐久間 優奈
今日は助手 シェフの隣で 下準備
母 佐久間恵理子

優
秀
賞

<佐久間優風さんと佐久間恵理子さんの作品>

優風さんは、料理の手伝いが好きで、料理に興味を持つようになってきました。お母さんと料理を作り、その手伝いをしたときの様子を作品にしました。

お母さんは、料理や手伝いに興味を持つようになった娘さんを見て、このまま好きになって欲しいという思いを作品にしました。

<菊地卓斗さんと菊地ヨシイさんの作品>

卓斗さんは、片手が自由に使えないおばあちゃんの背中をいつも洗ってあげていたそうです。そのことを作品にしました。

おばあちゃんは、肩の手術をし、装具を腕に付けた自分の様子を見た孫の優しい行動を嬉しく思い、作品にしました。

なお、最優秀賞の表彰は、1月6日（火）に杉妻会館で行われました。（表彰式の様子は、福島県教育庁社会教育課ホームページで御覧いただけます。）

十七字のふれあい事業には、県北域内から3, 812組の応募があり、県全体で37, 748組ありました。たくさんの御応募ありがとうございました。